

「かつしか郷土かるた」の遊び方

＜競技の準備＞

- ① 競技のはじめと終わりにはお互いに礼をします。
- ② 対戦相手とジャンケンをし、勝った側が札を裏返しのままよく切って、22枚ずつのふたつの山に分け、場の中央に置きます。ジャンケンに負けた側が先にどちらか一方の山を取り、勝った側が残りの山を取ります。（この時、枚数が22枚ずつになっているか確認します。）
- ③ 札を表にして並べます。（札の並べ方の図参照）

＜競技の方法＞

- ① 競技中は、札の位置を変えてはいけません。（競技中に札が動いた場合は速やかに元の位置に戻します。）
- ② 読み札が読まれるまでは、ひざは仕切り線に平行とし、仕切り線の内側に手や体を入れてはいけません。なお、頭は線から出ても構いませんが、並べた札の上にはかぶさらないようにします。
また、前傾姿勢は畳から45度以上を保ち、足のつま先で立たないようにします。
- ③ 読み札は必ず2回読みます。1回目（本読み）で札を取ります。2回目は、札が取られたのちに読まれるもので、次の札を読むための合図として読まれます（空読み）。なお、競技開始の際には、「く」の札を2回「空読み」してから競技を始めます。（競技開始の合図なので、この時は札を取りません。）
- ④ 読まれた札と違う札に手が触れた場合は「お手つき」です。ペナルティとして持っている札の1枚を相手チームに渡します。（この時、「く」の札や役札を渡さないようにしましょう。）
- ⑤ 最後の2枚になったら競技を一度中断し、残った2枚を中央線上に30cm離して並べなおします。競技再開の合図として直前に読まれた札が1回読まれます。
そして、残った札のどちらかが読まれるので、取った方が最後に残った1枚も取ることができます。（団体戦の場合は、1対1で勝負します。）

＜採点の方法＞

- ① 取り札は1枚1点で計算し、合計点の多い方が勝ちとなります。（役札ルールを採用する場合は、その点数も加算します。）
- ② 同点の場合は、「く」の札を持っているチームが勝ちとなります。

役札ルール

チームで以下の札がすべてそろったら、点数が加算されます。

川 札「い・ろ・つ・な・あ」	⇒	10点加算
園 札「ほ・む・す」	⇒	5点加算
人物札「よ・そ・や」	⇒	5点加算